

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人 折尾愛真学園 愛真幼稚園

I, 本園の教育目標

- 1 健康な体と豊かな心(キリスト教保育)を育てます。
- 2 基本的な生活習慣と社会性を育てます。
- 3 幼児期に急激に発達する諸器官に適切なメソッド(総合幼児研究会)を用いて発達を熟成します。

II, 本年度の重点的に取り組む目標・計画

- 1 子どもたちが喜んで園生活を送る。
- 2 自分の思いを表現し、伝わる喜びを感じられるような保育の展開
- 3 保護者の幼稚園理解のための工夫

評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D: 改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
喜んで園生活を送るための保育の実践	A	担任は子どもたちの個性を理解し一人一人の名前をいろんな場面で呼びながら子どもに合った配慮や援助を行い子どもの言葉に耳を傾け共感したり代弁したりして子どもの思いを広げ目標を達成した。
イメージや言葉が豊かになった	A	季節や発達に応じた絵本や紙芝居などを読み聞かせた。子どもたちの興味に合わせた遊び、また各学年の発達に適した様々な体験を季節に合わせて行うことによって言葉数が増え表現が豊かになり、友達関係が深まって喜び合えるようになった。
思いを表現するとともに相手の言葉に耳を傾ける	A	園生活を通して様々な豊かな経験から語彙が増えて行った。それとともに子ども同士、また保育士とのかかわりが深まっていった。学年に応じて語彙が増え、自分の思いを表現でき、相手のことばにも耳を傾けることが出来るようになった。

III, 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D: 改善を要する

評価	理由
A	今年度初めて自己評価表を作成し評価を行なった。総括表に学期ごとに記入することができた。 3人の新人保育士も積極的に保育に取り組み、7名の保育士ほとんどがA評価となった。

IV, 今後取り組む課題

子どもたちが喜んで園生活を送る	日々の礼拝や聖話の時間を通して神様のことを知る機会を大切にする。
遊びを中心とし、充実した保育の展開	総幼研保育(遊び感覚)のスキルを高める。いろいろな経験を通して自己発揮する。
危機管理体制を整える	園庭、園内の安全管理体制を整え、職員間での共有を更に計る。

V, 学校関係者評価委員の評価

- ・めざす子どもの姿が明確である。新人保育士への支援や研修が効果的に行われている。
- ・子どもの主体性を育てる意識を小学校でさらに伸ばしたい。
- ・自己評価総括表から、子ども達が安心して園生活を送っていることが感じられた。
- ・ベテランも新人も先生方が日々子どもと向き合いながらチームで指導をしている。
- ・自己評価が先生たちの負担にならないように配慮しつつ、教育の質の向上に努めていただきたい。